

**HARI** Question Bank

東洋医学シリーズ

# クエスチオン バンク

はり きゅう基礎学  
はり きゅう実技

蛭東洋医学研究所

## 目次

はりきゅう基礎学Ⅰ・・・・・・・・ 3

はりきゅう基礎学Ⅱ・・・・・・・・ 10

はりきゅう実技・・・・・・・・ 16

※ページ番号はpdfファイルのページになります。

## 本書の使い方

- ✓ 左半分 穴埋め問題になっています
- ✓ 右半分 回答文になっています
- ✓ 右半分を隠して、左半分を見ながら、  
右側の内容が答えられるよう暗記しましょう

# はりきゅう基礎学 I

# はりまわり基礎学 I-①

2014 4/10 18:00~19:30 鍼灸学科で6L11=七古学5.6. (やまおひこさん)  
19:30~21:10 はりまわり理論

○ 鍼の名称: 七古学. 中国. 入り  
七古学は鍼の総称  
別名


鍼柄, 鍼体, 鍼先, 鍼根  
LH10. LH12. LH14. LH16  
毫頭, 穂, 穂先, 鍼脚  
ツバサ ぼ はじ LK2K

○ 鍼管. 鍼の4倍, 2針地  
1寸1分 cm, 七古学長

挿管 西洋挿管 片手挿管  
3cm, 30mm, 鍼体

○ 号鍼. 1. 2. 3. 4. 5

16, 18, 20, 22, 24号鍼

○  名竹  
手技  
刺入  
曲り  
痛み

より和三角形, 方形, 卵形, 松葉形, 柳葉形  
打鍼法 管鍼法, 燃鍼法  
易 易 難 易 易  
易 難 難 難 難  
軽やか, 軽やか, 鋭麻 少い, 少い

○ 材質 3つ  
柔軟性  
人体に  
腐食  
耐久性

金鍼 銀鍼 ステン  
富む 富む 劣る  
少い 少い 少く  
難い 易い 難い  
劣る 劣る 富む

七古学の名称. 入り  
左手, 右手

鍼管  
押子, 刺子

4/14 (水) はり灸基礎学 I 19:40~21:10

○ ○~○月 上毛生毛の  
乾燥 2回  
右の毛を2 ( ) 毛を2回  
風呂で洗って毛を2回  
毛を2回 ( ) ( ) の毛  
②に2 ( ) 毛を2回乾燥

5~8  
自然乾燥 2~4日間, 火力乾燥 75~85℃ 5~6時間  
毛茸 (毛の毛)  
唐箕 (毛の毛) 12P43  
毛茸, 腺毛  
千本オール

○ 線香 ( ) の樹皮を主として

○ 良質の原料は、手彫り、色、強靱、不燃物  
煙、灰、熱感

○ 鍼の前後の打ち比、前... 後...  
の場所

○ ①の目的、3つあるものの目的は

・  
・  
・

○ ②の目的、2つあるもの

注意  
左手と右手の役割

○ ① 鍼の鍼管を ( ) の形、種類  
② と ③ の両指で握る

○ ①の左手の種類、3つ

○ ② 鍼を ( ) ( ) して左手  
の指と右手の指で握る

鍼先で皮膚を破る  
鍼柄を握る  
鍼を入る

○ ①と3つ

aの起源  
bの漢字、陽気、目的、鍼形  
cの " 大小

77"

青白、柔い、淡黄白色、細い、折れ  
やすい、折れやすい、強靱

揉捻法、①前揉捻、②後揉捻  
刺鍼部位

① 皮膚・筋緊張の緩和

② 局所の血流の改善

③ 患者への刺鍼の予告

目的 刺入を容易にする、皮膚痛の軽減

① 揉捻前後の 鈍痛 の軽減と消失

② 皮下隆起 の軽減と消失

アロウ・ル・探針を1112 指で握る、1112 握る (2段-177)

① 押手、② 刺手

保持、④ 指の押手、⑤ 刺の押手  
② 1112、③ 1111

左右握 (水平握)、上下握 (垂直握)、同側握 (同側握)

刺入、抜除。

印皮  
弾入行為

① 刺鍼

② 揉・鍼法、③ 打鍼法、④ 管鍼法

中国

御園憲齋、宇土桃山、腹部石癭、27103  
杉山和一、江戸、痛入、血、鍼、鍼管



# はりきり基礎学Ⅰ-②

4/24 19:40~21:10

挿管 片手のみ

- 鍼の<sup>針</sup>入れの仕方 20
- ★
- ★

鍼の角度

- 鍼の角度 30, 45度の  
解

5/8 19:40~21:10

- ③ ○ 刺鍼中の手技 (17)
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17

片手挿管法

- 刺入 (しりゆり)
- ① 送り込み刺法
- ② 捻捻刺法 (せんとん)

捻鍼 (17, LW), 捻返りのこと

直刺, 斜刺, 横刺, 刺入角度  
90° (直), 45° (斜), 10° (横)

- 単刺術 針 (しりゆり) SN (Single Needle)
- 雀啄術 針 (しりゆり) IT-8000
- 間易術 針 (しりゆり) 針管2つ
- 屋漏術 針 (しりゆり) 1/35 + 2
- 振也術 針 (しりゆり) 振動
- 置鍼術 針 (しりゆり) 10分
- 捻捻術 針 (しりゆり) 半回転
- 回旋術 針 (しりゆり) 一回転
- 乱鍼術 針 (しりゆり) 手技併用
- 副刺激術 (気相法) 指強叩
- 示指打法 針 (しりゆり) 針管叩
- 随鍼術 針 (しりゆり) 呼吸, 吸吐
- 内調術 針 (しりゆり) 針柄, 針管叩
- 細指術 針 (しりゆり) 呼吸, 吸吐
- 管散術 針 (しりゆり) 針管叩, 針管叩
- 鍼尖転動法 針 (しりゆり) 針管叩, 針管叩
- 刺鍼車回法 針 (しりゆり) 針管叩, 針管叩





はりきゆう基礎学 I - ③

○ 感受性

年齢  
性別  
体質  
栄養状態  
経験  
刺激部位

鋭敏

小児, 老年  
女子  
虚弱者, 神経痛者  
不良者  
未経験者  
顔, 手足

鈍感

青年, 壮年  
男子  
頑健者  
佳良者  
経験者  
膝, 背中

○ NIZH の鍼心有効的疾病 3  
鍼器の比

- 施術 120... 7... の比
- 鍼施行 120 部位

① 成人術後・薬物療法時の嘔吐, 吐き気  
② 妊娠時の悪阻 (つわり) ③ 産科の術後痛  
禁忌部位 (22)

• 灸施好 5 部位

① 新生児の大泉門 ② 外生殖器 ③ 膈部 ④ 胆球  
⑤ 急性炎症の患部, ⑥ 肝, ⑦ 胸膜, ⑧ 心臓  
⑨ 腎臓, ⑩ 脊髄, ⑪ 在髄の中視神経系 ⑫ 大血管  
⑬ 顔面部, ⑭ 化膿と起る部位  
⑮ 汚層・大血管の部位, ⑯ 皮膚病の患部 ⑰ 炎腫部位

○ WHO の F32 疾患の病状

- 鍼 40
- 灸 70

① と ② の比 120 の比 120 の比 120 の比 30

① 妊娠, ② 叔急事能たす術と並行の場合  
③ 急性腫瘍, ④ 出血性疾患  
鍼⑤, ⑥ 急病の患部の場合, ⑦ 知覚障害  
⑧ 精神障害  
⑨ 愁訴の改善の期待が強い場合, ⑩ 現代医療の補完

施術前後の洗浄

○ 手指の洗浄 (指) 手指の消毒 20 (5%)

- 施術後の消毒 (指) ○ 0.1% の JCL  
0.1% の JCL
- 施術後の消毒 ○ 杖

① スクワグ法, 清拭法 (270 法), 掃拭法 (300 法)  
270 法: 消毒用 270-1-1  
温水

○ 灸: 臨用前用 JCL ○ 40, 大 20

- 回数一般 ○ 90 20 20, 110 10 10  
① ○ 0.1% の JCL の高濃度, 杖取 均一  
均一に洗剤 洗, 洗剤  
煎用 0.1% の JCL  
煎用, 70% の JCL

3 杖: 指先, 爪の下の 270 部  
透熱灸, 18 分灸, 艾性 (米粒大), 半米粒大, 米粒大  
3.5.7 杖. 多杖灸 (奇效), 1 日 1 回  
水腫, 仰臥位, 座位, 20-30 杖, 杖の太さ → 熱感  
白金灸, 上骨髁, 次骨髁  
透熱灸の行い方: 温灸 (和灸) と灸 (灸) の灸  
隔日灸: 膈部の塩灸, 患部灸



# ○ 古代九针

9)

- ① 形制: 特微  
用途: 现代
- ② 形制: 特微  
用途: 现代
- ③ 形制: 特微  
用途: 现代
- ④ 形制: 特微  
用途: 现代
- ⑤ 形制: 特微  
用途: 现代
- ⑥ 形制: 特微  
用途: 现代
- ⑦ 形制: 特微  
用途: 现代
- ⑧ 形制: 特微  
用途: 现代
- ⑨ 形制: 特微  
用途: 现代

# ○ 现今之针具

9)

- 破针
- 刺入的针
- 刺入的针
- 的装置, ○ 的刺入, ○ 的刺入, ○ 的刺入
- 子使用 名称 ○ 的装置 ○ 的刺入 ○ 的刺入
- ① 针距 2寸 针距 名称 3寸
- ②
- 针名 ○ ~ ○ 针 名称 ○ ~ ○
- 针尖
- 针身

- ① 金冕针, ② 内针, ③ 金茎针  
④ 金茎针, ⑤ 银针, ⑥ 黄针  
⑦ 毫针, ⑧ 长针, ⑨ 大针
- 针尖: 锐利, 深刺入 (内), 及骨刺入 (内)  
及骨之 擦透, 浅刺入, 知足更在 (内), 小儿针
- 针尖: 圆形, 刺入 (内), 擦透 (内) 的  
筋内刺之 行 (内) 的  
小儿针
- 针尖: 粟粒状 (内), 刺入 (内), 按压 (内)  
按压 (内) 之 流注 改善, 金茎针, 银针
- 针尖: 三角形 (内), 刺入 (内), 擦透 (内) 的  
病 之 经络 (内) 的 (内) 之 擦透 (内) 的, 三棱针
- 针尖: 金茎状 (内), 擦透 (内) (内) 的 (内) 的  
擦透 (内) 的, 排脓 升 (内) 的 (内)
- 针尖: 内锥形, 刺入 (内)  
急性之 痛 (内) 的 (内) 的, 擦透 (内) 的, (内) 的  
擦透 (内), 刺入 (内), 及骨, 筋内 之 刺入 (内) 的  
痛 (内) 之 擦透 (内) 的, (内) 的, 毫针, 内皮针, 皮内针
- 针尖: 锐利, 细长, 刺入 (内)  
皮层不觉, 循理 疼痛, 深刺 之 筋骨, 长 (内) 的 (内) 的  
擦透 (内) 之 长 (内) 的, 刺入 (内), 擦透 (内) 的, 擦透 (内) 的  
擦透 (内) 的 (内) 之 擦透 (内) 的 (内) 之 擦透 (内) 的
- 打针, 火针 (内) (内) (内)

- 小儿针, 金茎针, 银针, 三棱针, 毫针, 皮内针, 内皮针, 打针, 火针
- 秘宝之山, 金茎针, 金茎针, 金冕针  
5内之 (内), 毫针, 黄针, 长针, 大针  
及骨之 (内) 的, 金茎针, 内针  
亦可 幸 之 行, 皮内, 水平, 持续 的, 并 之  
小儿针, 刺入, 皮层 刺入  
持 之 擦透, 集 之 擦透, 拔 之 擦透, 刺 之 擦透 (内) 的 (内) 的  
擦透 (内) 的, 擦透 (内) 的, 擦透 (内) 的, 擦透 (内) 的 (内) 的  
生致之 同用 ~ 小学, 刺入 之 擦透 (内) 的 (内) 的 (内) 的 (内) 的  
皮层之 同用 之 擦透 (内) 的 (内) 的 (内) 的 (内) 的 (内) 的 (内) 的 (内) 的  
推入, 十见 神经 痛, 及 位置 不 移动, 声音, 夜 醒

# はりきゅう基礎学Ⅱ



# はり きの 基礎 学 II - ①

① 〇 施 行 者 手 指 の 洗 淨

② 〇 手 指 の 消 毒 27

① 〇 使 用 の 注 意

③ 〇 施 行 野 の 消 毒 , 何 十 回 の 注 意

④ 〇 微 生 物 の 種 類 と 増 殖 大 小 の 順 び  
ヒト と 動 物 に 病 毒 を 伝 へ る 〇 経 路 〇 注 意

⑤ 〇 細 菌 の 形 37

⑥ 〇 感 染 経 路 37

⑦ 〇 病 原 微 生 物 の 経 路 27

① 〇 27

② 〇 37

日 和 見 感 染 症 病 原 微 生 物 の 〇 注 意

引 取 出 因 子 47

起 因 因 子 , 〇 注 意 37

空 気 感 染 症 防 策 37

代 表 症

飛 沫 感 染 症 防 策 37

代 表 症

接 触 感 染 症 防 策 37

代 表 症

⑧ 〇 1 類 感 染 症

⑨ 〇 2 類 感 染 症

⑩ 〇 3 類 感 染 症

1 類 47

2 類 47

27277法

消 拭 法 (2777 法) 〇 擦 拭 法 (3777 法)

〇 〇 〇 〇 〇 ( 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 )

2777 法 , 〇 〇 〇 〇 ( 〇 〇 〇 〇 ) 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇







1 1日) 2) 3) 基礎学 II - (2) 21

⑤ ① ○ ○ ○ 1) 2) 3) 原因 2) 予防 3) 処置 3)

脳循環血流量減少  
屋位と立位, 粗果右手技  
屋位と立位は注意, 刺激量古少(20), 信地内係  
仰臥位は17并静と休態, 返(鍼) (合谷, 足三里)

⑦ 原因 2) 遠百覚 予防 3) , 処置 1)

不良飼料, 大い飢, 過度の刺激  
認識, 投用ノ誤, 後療法, 圧迫

⑧ 原因 5) 予防 3) 金針器 化膿

水疱形成, 痂皮破壊, 消毒不全, 汗入浴, 体質  
採取を重くした際, 正しく同一部位に施す

針灸 処置 3)

艾炷の大きさを, 特別に陽に除き大く(10)の  
施灸痕を搔破(しない)患者は注意して予  
消毒の反復, 泡灸中止し速者自ら取除き等, 一時中止

⑨ (2) 症候 5) 針刺

全身倦怠感, 疲労感, 脱力感, 頭痛, めまい

原因, 原因

食欲不振, 乏化(悪寒, 発熱, 嘔吐)  
及刺激の強弱の過剰反応, 刺激量過多

予防 2)

初診患者は刺激量古少(1) 初診に再診の量印を施す等

針灸

奇解臥床を指示, 可能性戸殺の任入を説明

⑩ 施行所に關する注意

⑪ ① 施行場所 ○ (6) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

1日) 手指及針の施行の局部を消毒, 30分以下ノ罰金

⑫ 施行時の条件 4)

① 6.6 早急ナールに施行室

② 3.3 早急ナール以上ノ待合室

③ 施行室は, 空室積の17分の以上ヲ充テ開致(傷子)

④ 施行に用ル器具, 手指等の消毒設備ヲ存シテ

ゴミ, 粗大ゴミ, ① 一般廃棄物, ② 産業廃棄物

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 市町村, ② 事業者

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

密封, 耐湿通性

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

電気, 液引, 軽傷

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

生命の危険, 病状の悪化, 医療事故

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

有害

WHOの電氣療法は ○ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

3)



(出3) ・使用金属の○の単位使用, 銀鍍金の○の可能性  
 ・体位: ○の型目と○の対応  
 ・適量時間: ○の長さ

①-④ 金属の ○の単位使用, ○の単位使用  
 ○の適量時間, ○の適量時間, ○の適量時間

(出3) 禁忌: 6, 7, 8, 9  
 ・注意事項: ○の長さ, ○の長さ

(出2) ① 金属の○の単位使用, ○の単位使用  
 ② 金属の○の単位使用, ○の単位使用

(出2) ① 金属の○の単位使用, ○の単位使用  
 ② 金属の○の単位使用, ○の単位使用

(出2) ① WHOの○の単位使用, ○の単位使用  
 ② WHOの○の単位使用, ○の単位使用

① 金属の○の単位使用, ○の単位使用  
 ② 金属の○の単位使用, ○の単位使用

① 金属の○の単位使用, ○の単位使用  
 ② 金属の○の単位使用, ○の単位使用

(出2) 主要な検査項目, 部位 肩, 背脊, 陽物  
 腫中, 中腕, 梁門

腎臓, 志堂, 瘻門  
 天柱, 衛門, 耳孔部

① 金属の○の単位使用, ○の単位使用  
 ② 金属の○の単位使用, ○の単位使用

(出2) 注意すべき体位, 何位, 何位  
 (出2) 針灸 30

(出2) ① 金属の○の単位使用, ○の単位使用  
 ② 金属の○の単位使用, ○の単位使用

(出2) ① 感染症 30, 何位, 何位  
 ② 感染症 30, 何位, 何位

ステンレス, 折金  
 侵入位, 脳出血  
 過剰

位置カレバ光, 経穴, 圧痛点  
 痛み, 眼, 患者, 施術者, 防護のため

① 急性腫瘍, ② 心臓疾患, ③ 体位若くは下  
 ④ 出血性疾患, ⑤ 新生児-乳幼児, ⑥ 眼: 甲状腺  
 腫, 瘻管感

埋没針 <- 100% 確率  
 1 腫瘍の予防, 2 止血の予防

① 感覚障害, ② 意識障害, ③ 循環障害  
 ④ 急性炎症, ⑤ 慢性腫瘍, ⑥ 出血傾向

1 緊急事態, 手術の準備, 2 出血性凝血性疾患  
 3 妊娠, 4 慢性腫瘍

5 400, 2 喉頭がん, 6 知覚障害, 7 精神障害  
 新生児大動脈, 外生腫瘍, 乳頭, 腋部, 腋窩,

急性炎症, 重傷, 大血管 (腋, 肘, 心臓, 胸, 背, 骨盤, 道)

腋窩部, 外生腫瘍, 乳頭, 腋部, 腋窩, 大血管  
 化膿部, 皮膚病

20mm (A手), 19mm (A肘), 5mm (A手, 肘)

10mm (心臓), 5mm (胃), 10mm (胃, 肘)

40mm (腎臓), 20mm (腎臓), 30mm (道, 骨盤)

35mm (椎骨部), 10mm (大血管部), 20mm (肘部)

自然発症, 外傷性発症, 医原性発症, 外傷性  
 組織型, 小動脈, 扁平肉, 1位: 肝臓, 胆管, 膵臓  
 声音振盪, 聴診器, 胸部CT, 診断  
 医師, 急科医師, 位置 (右側, 左側)  
 個人情報 (勤務上の個人情報) 検査結果 (2015/10/10)  
 B型肝炎ウイルス (HBV), C型肝炎ウイルス (HCV), 免疫不全ウイルス (HIV)  
 仁ファーム・J-セント | 早稲田大学附属病院



8 けりきちり基礎字 II -

③

与胸のつらさ

原因

前胸部 側胸部 肩背部の深刺し

胸腹腔一空気の入り起り

多い

小学生: 体型 小柄, 扁平胸, BMI<18.5

症状

胸痛, 4PI-位, 刺激性咳, 労働付与-困難

予防の

刺入深さと調整し, 部位-8.2の斜刺し挿刺し

可。

②

痛みの許し及小児刺入を中止可

処置

1.ト-腹を弛緩し指示し様子可

③

医師の治療を依頼し同行可

灸鍼

針柄=〇〇〇のつらさ

艾

〇〇〇〇〇〇〇〇

銅-打撃柄の利便と灸の温熱刺激

〇〇〇〇〇〇〇〇

肩の, 腰痛

〇〇〇〇〇〇〇〇

垂直-保つ, 厚い

湿平灸 針, 艾

スリスリ針, 温灸用艾

〇〇〇〇〇〇〇〇

輻射熱, 体動, 落下

赤外線

熱傷的

水と氷冷水で冷可

針の医療器具の内訳

灸胸, 折針, 化膿, 皮下出血, 症状悪化

針刺し(手) 〇〇〇〇〇〇〇〇

血液, 体液, 後療法

〇〇〇〇〇〇〇〇

感染, ワイルス

〇〇〇〇〇〇〇〇

手袋, 指の

〇〇〇〇〇〇〇〇

迅速=石ITLと流水で洗済可

HBVの 〇〇〇〇〇〇〇〇

B型肝炎のり混劑, HBVの74%, 24時間

HBVの感染率

30%

・胸腔内=空気の存在が心配

与胸

・同院の2名に1名が心配

抜針困難

・痛くないように

灸あり

・痛痒の 皮膚12-2人

ホリP

・HZU

ヒト免疫不全ウイルス

・針治療の利益(〇〇〇〇〇〇〇〇)

り27

・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

副作用

はりきゅう実技





121) 灸  
 天柱, 大椎  
 天宗, 曲垣  
 曲池, 手三里  
 髀髁, 志室  
 胃俞, 脾俞  
 承山, 委中  
 梁丘, 犊鼻  
 陵泉, 鹤顶

才2 颈推上缘 (髓凹印下0.5寸), 循增品外侧, 才7 颈推下  
 肩胛中点  $\rightarrow$  下角  $\frac{1}{3}$ , 肩甲韧带内侧上下印凹部  
 尺) 天宗外侧上缘凹中点, 曲池  $\rightarrow$  2寸 (3/2)  
 才2 膝推下缘外1.5寸, 才3寸 (肩胛骨内侧)  
 才12 胸推下外1.5寸, 才11 胸推下外1.5寸  
 肘髁部—肘髁 (8/16), 肘髁横纹中点  
 大腿后部腓外缘, 膝髁骨上2寸, 膝髁韧带外下印凹部  
 膝骨内侧髁下缘与内缘凹中点, 膝髁骨上2寸中央印凹部

本書の一部あるいは全部を、無断で複製、転載すること、インターネットで掲載することは、著作権者および出版社の権利の侵害となります。

あらかじめ許諾をお求めください。

本書を無断で複製する行為（コピー、スキャンなど）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き、禁じられています。

また、複写物やスキャンデータを他者へ譲渡・販売することも違法となります。

## 東洋医学シリーズ クエスチョンバンク

発行者 大塚 信之

発行所 蛸東洋医学研究所

**HARI** Hotal Ancient-medicine Research Institute

住所 大阪府豊中市蛸池中町

<http://otsuka.holding.jp/HARI/>

E-mail : [hari@otsuka.holding.jp](mailto:hari@otsuka.holding.jp)

---

Printed in Japan ©2020 東洋医学研究所